



①

令和2年豪雨被災地

JR渡駅前

球磨村渡出身の

防災士今村政道氏

(中央)

(右) 宮下支部長

(本部会員)

(左) 福本 "

(")

(後列右) 田村 "

(")

(後列左) 上田 "



②

社会福祉法人

慈愛会

特別養護老人ホーム

「千寿園」

熊本県南部を襲った

豪雨により入所者

14人が犠牲になった。

救出された51名は

人吉医療センター

公立多良木病院に収容

防災士達で門前で

「黙祷」し、「一礼」

して冥福をお祈り

しました。



③

偶然出会った

球磨村役場の職員

2人に豪雨災害状況

を聞き、無情な

自然災害の体験談

を聞くことが出来た。

福本防災士

上田防災士(手前)



④
球磨郡球磨村

渡地区在住の

防災士今村政道氏

（71歳）が村内の

被災地を案内して

くれとても助かった。

自宅は幸いに被害を

免れたとのこと。



⑤
特養老人ホーム
「千寿園」玄関前の

被災状況令和2年

7月一杯で職員約

80名をほぼ

全員解雇するとし

入所者からは存続

の声も上がるが、再

開は事実上困難となる



⑥
奥くに建つ被災家屋に
母親（72歳）と
娘（35歳）が住んで
居ましたが、母親は自宅
に残り、娘に「貴女は
逃げて」と言い残して、
「家屋内で豪雨に呑み
込まれ亡くなった」と
聞き、豪雨災害の無常
さを感じます。



⑦

「球磨川」の氾濫で

球磨村立渡小学校

の1階部分（天井）

まで水没していました。

。



⑧

球磨村立小学校運動場

（堆積土 $T = 30 \text{ cm}$ ）

の片隅に固定電話機が

転がっており、災害の

酷さを感じます。



⑨

「災害時避難所」

渡地区多目的集会施設

で、役目を果たさ

ず「多目的集会施設」

には、誰1人いない

避難所だった。



⑩

玄関奥の避難所の

大広間にも汚泥が堆積

して、一度も使えず

一面に汚泥が散乱して

いました。



⑪

「災害時避難所」を

利用出来ない程、この

豪雨災害は無常で予想

出来ないような、自然

災害の怖さを感じます。

又裏勝手口付近にT＝

15cm堆積してい

ました。



⑫

球磨村役場・職員と

「さくらドーム）」

で支援物資等の

運び込みの打合

わせ状況

防災士福本さん

〃 上田さん



⑬

球磨郡球磨村

「さくらドーム」

被災地へ全国各地から

の支援物資届き

保管場所の風景



⑭

「さくらドーム」で

豪雨被災者の沢山

の方々が必要な支援

物資を受け取り

にいられていた。



⑮

球 磨 村

「さくらドーム」

内の支援物資配布

状況

（左側の被災者が

必要な日用品を

選別されていた）



①⑥

今日の必要な夕食
の食材を受け取り
に来られた被災者
の皆さん



①⑦

支援物資
の中の衣類等
を求めて来られた
被災者の皆さん



①⑧

人吉市・国宝
阿蘇青井神社
前蓮根池に落下
転覆したワン
ボックスカーと
樹木の枝に絡まって
いる災害ゴミで樹木が
枯れ掛かって居た。



①⑨

人吉市内の繁華街で
ガードポスト・街路灯
・電柱設置場所に「球
磨川」の氾濫で流木等
の災害ゴミが幾重にも
絡まっている悲惨な交
差点で、通行車両の
妨げに成っていた。



②⑩

人吉市街の通路は

清掃されていたが、周辺
の家屋・多数の乗用車や
店舗の商品は濁流被害で
廃棄処分されていた。



②⑪

気温が36度を
超えて大型扇風機
を着けてあり、「らく
らくミルク」を乳児に
手渡している福本
女性防災士